



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2024年12月1日

No. 127

イエスはお答えになった。
「わたしの国は、この世には属していない。」

ヨハネによる福音書 18章36節・新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

行って、あなたも同じようにしなさい。

ルカによる福音書 10章37節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



一年の終わりの日曜日の今日、私たちは「永遠の王キリスト」という主日を迎えました。今日の日課に目を向けると、次のようにあります。「わたしの国は、この世に属していない」。ここで「国」と訳されているギリシャ語は、辞書によると第一に意味するのは「国」ではなく「支配」となるようです。

またイエスが言われる「わたしの国は、この世に属していない」という言葉を直訳すると、次のようになるそうです。「わたしの支配は、この世からではない」。つまり、この世ではなく、神をその力の源泉としている。これこそイエスの言われる「わたしの国」ということなのです。

この世に属する私たちが、その力の源泉をこの世のものとしている私たちが、「この世に属さない」、「この世からのいかなるものにも、その力の源泉としない方の力について、なす事柄、望まれる事柄について、一切想像することも、理解することも、説明することも出来ないのは、当然のことなのではないでしょうか。

今日の第一の朗読でお読みしました、ダニエル書。第二の朗読でお読みいただいた、ヨハネの黙示録。いずれも聖書では「黙示」に分類されます。「黙示」とは、「神が人に隠されていた真理や神の意思を、啓示すること」という意味になります。また「啓示」とは、「人の力では知り得ないことを、神が教え明らかにすること」という意味になります。教会暦における一年の終わりに、黙示と分類される日課が選ばれているのは、終わりにあって「隠され、人自ら知り得ない真理と御心を、神が明らかにされる」ことを意味していると言えるでしょう。

ダニエル 7 章では、黙示、すなわち人に隠されていた真理や神の意思という、人の力では知り得ないことを、神が次のように明らかにしています。「聖書略」。これが「隠されていた真理」であり、「人の力では知り得ないこと」なのです。それは「人の子が雲に乗り」と、福音書などにみる「終わりの日」の描写に近い表現と重なり、終わり、恐ろしさをイメージさせます。しかし私たちが目を向けるべきことは、それに続き、人の子が「雲に乗って」再び来られる時、すべての民が人の子に仕え、その支配はとこしえに続き、統治は滅びないと言われていることです。これこそ「隠されていた真理」であり、人が知り得ないことが、神によって明らかにされたということなのです。人の子の到来により、この世の支配者による支配が終わり、人の子の前にすべての民が仕え、新しい支配が始まるということです。教会暦の終わりにあって、私たちは終末、終わりの日の描写を見、また聞いて来たのですが、それは新しい時、人の子による新しい支配の始まりの時を明らかにしているのではないかと思います。

十字架に引き渡される直前、ピラトの問いかけに対し、主イエスは「わたしの国は、この世に属していない」と答えられました。この世の支配ではなく、神を源とする、神の愛を源とする、新しい国、愛の支配が始まるという、真理が明らかにされているのです。そしてそのために、主は十字架への道を歩み、神からの愛を示されたのです。この人の子の前に、すべての民は仕え、「互いに愛し合う」という主の戒めによって、新しい支配に生きる群れとして、歩み始めることが出来るのです。(永遠の王キリスト)

●70年間の求道者

尾○松○

アジア・太平洋戦争終焉直後、米国を中心に各国から多くの宣教師が来日した。

その中にビリー・グラハムという大衆伝道師が、両国国技館を会場に伝道集会を行ったのですが、その講演の中で「神は霊であるから、一度にどこにでも居ることが可能なのです」という一句が、私の魂を強く捉え、その後の70年間の弓道の開始となったのです。その講演から間も無くして、目黒区今井館聖書講堂で行われていた矢内原忠雄先生に6年間、先生亡き後、高橋三郎先生の日曜集会で15年間聖書の学びが許された(1)。

つまり、内村鑑三独自の聖書解釈に根差した無教会の教えである(2)。

その特徴は、洗礼や聖餐に与らなくとも人は救いに至るという大胆な教義である。

当時は全く気が付かなかったのだが、かりにそうだとすると、ここに大きな問題が潜んでいる。

それは聖書のもつ権威である。

使徒パウロが「あなた方に伝えるのは、実に、私が主から受けたことである」と洗礼や聖餐の制定はキリスト自身にあると述べているからである(コリント一11章23-25節注)。

しかも、聖体祭儀の制定に関して新約聖書に4つの記述(4)があるが、最初に取り上げたのは、他ならぬ使徒パウロである。

いずれにしても、最初期のエルサレム原始キリスト教団形成期に、それらは大変重要な役割を果たしたに違いありません。

お話が前後するが、聖体祭儀とは主イエスがパンを裂いて「これは私の体、あなた方のためのものである」と語られ、同様に主は杯(さかずき)についても、「私の血による新しい契約である。これを飲む時はいつも私の記念として、このように行いなさい」と述べて

おられる個所である(5)。

洗礼、聖餐は契約の式典であって、この世に死んでキリストに生きる決断の式でもある(コリント一11章26節)。

この度、神さまから大動脈弁狭窄症という死に至る病を賜り、70年間の求道の歩みに終止符を打つ機会をつくって頂いた(6)。

周知のように、神にとって審きは同時に救いの業である。キリスト教は旧約の思想を受け継いだ契約の宗教です。神はさ迷う私に対し自分の立場を旗幟色鮮明にするように迫ったのである。

私は自分の信仰と身体という二つの生命維持を考え「70年間の求道者」から決別して、洗礼と聖餐の契約の道へと押し出された。

押し出して下さったのは、外ならぬ神さまである。感謝！

註

(1)矢内原・高橋両先生には下記のような著書がある。

矢内原忠雄全集 岩波書店

高橋三郎著作集 全11巻 教文館

(2)無教会の矢内原・高橋両先生は洗礼・聖餐は行わなかったが、受洗経験者が多数集会に出席しておられた。

(3)フランシスコ会訳 461頁 註5

(4)聖体祭儀、マタイ26章26-29節、マルコ14章22-25節、ルカ22章19-20節(ヨハネ6章53-58節、前後の文脈から後の教会の加筆 神学者ブルトマン説)

(5)イスラエルの神は契約を厳守する神として民に記憶されている(歴代誌下6章14節 マカバイ二1章2節)

(6)私は失神し救急車で昭和大学藤が丘病院に運ばれ、「あなたの命は長くて2~3年」と言われ人工弁を腹部から挿入するため江東豊洲病院に移送、2024年8月

※尾○さんは、12月22日のクリスマス礼拝にて、洗礼を受けられる予定です。皆様のお祈りをお願いします。

●女性会だより

11月17日 12名参加
司会、祈り ○谷姉
讃美歌 337番

1 聖書の学び

創世記9章1～17節

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く」

虹とは創世記では神様の約束。否定的な事の後につながり、それを通してからこそ見られる。平和とは神様の言う平和は苦難をとおして与えられる。(人間の言う平和とは異なる。)

ノアの箱舟の物語は私達の悪が滅ぼされ、生かされ、命を与えられた。

新約聖書では私達の悪、罪をイエス様の十字架が滅ぼして下さった。善だけが残ったのではなく、私達のうちにある罪を神様の許し、めぐみによって丸ごと救って下さった。

2 例会

- ①11月9日の秋の信徒の集いの報告
 - ②在り方検討委員会報告
 - ③クリスマス献金について
- 12月の例会で献金先を決定する

次回は12月15日 女性会総会

こども祝福式報告 定○○子

11月10日の日曜学校礼拝の中で、子ども祝福式が執り行われました。

当日の出席者は○藤○実さん、竹○幸○さん、市○彩○さんの3名でした。

佐藤牧師から祝福していただき、清野家の皆さまが心を込めて作って下さったキャンディーレイをかけてもらいました。

神様、子ども達がこれから歩む道を、いつも明るく照らして導いてください。

今月、受洗記念日を迎えた方々

2日 ○野○之兄 5日 ○辺○兄 8日 ○○基姉
12日 ○藤○子姉 17日 ○井○樹兄 18日 永○○子姉
19日 ○林○太兄、山○○子姉、○野○兄、○澤○子姉
20日 吉○○杷子姉、小○○○み姉、○嶋信○兄
○田英○兄 21日○利○子姉、○井信○兄、○○子姉、
○谷○一郎兄、五○○彰兄、○山○明兄 ○上○姉
22日 ○○川○瀬恵美姉、田○○姉、市○○江姉、○元○子姉、
○元○子姉、○原○雪姉 23日 松○○子姉、
小○○恵子姉、○飼○一兄、○藤○兄、○○子姉、伊○恒兄、
○野○兄、○野○兄 24日 ○村○子姉、○谷○子姉、
○野○子姉、○野○洋兄、○野○洋兄、○野○希姉、
○山○郎兄、○山○子姉、○山○姉、○山○兄 25日
○木○子姉、○村○子姉、○岡○子姉、○原ち○子姉、
○原○太郎兄、○越○子姉、○本○宣兄、○藤○実姉、
上○○美姉、定○○子姉

おめでとうございます。

わたしの隣人に対して、一人のキリストになるよう
「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカによる福音書10章37節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



●牧師室より



12月に入り、教会暦は待降節(アドベント)を迎えました。典礼色は紫となり、新しい典礼布が用いられます。神の導きによる、人のつながりによって、思いを超えた恵みが与えられました。製作者の古○○子さんと安○百○子さんに心より感謝します。(佐藤)



●こども祝福式の様子



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。